

九州異業種交流会 WEBセミナー

～新しい局面におけるインバウンドを考える～



インターネットの爆発的な普及やAI、ビッグデータ等のデジタル技術が経済社会のあらゆる場面で進展し、革新的なデジタル製品やシステム、あるいはビジネスモデルが、新たな革新的技術を生み、市場を創出し、瞬く間にグローバル市場に拡大する今日、世界の産業や社会のあり方が日々変貌を遂げています。

早く、大きく変化するビジネス環境に対応するには人の英知が何より大事ですが、今までとは異なる見識や経験を持った人との交わりの中から、今までにないような発想や構想を生み出すことが大事ではないでしょうか。

そこで、今回は「日本人及び日本文化のファンをつくるインバウンド」をテーマに関心ある方々が集い、色々な考えや体験談を交わせる場として、本交流会を企画しました。

人を知ることで、自分も人も活かすことが目的です。どなたでも自由にご参加下さい。お待ちしております。

日 時 2020年11月14日(土) <13:00～16:30>
開催形式 WEB開催【参加無料】

プログラム

1. 本会の趣旨 <13:00>

一般財団法人九州オープンイノベーションセンター 常務理事 成清 四男美

2. 事例発表 <13:10～14:50>

■観光が地域活性化に果たす役割～八女市での実践で目指していること～

学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学 客員教授 若林 宗男 氏

■コロナ禍におけるコンテンツのマネタイズ化

福岡ソフトバンクホークス株式会社 事業統括本部 新規事業推進本部 インバウンド推進室 室長 淵 郁子 氏

■伝統とテクノロジー ～古き良き日本伝統と近代化社会をどう繋げるか?～

合同会社 GOTOKU 代表 アレキサンダー ジョエル ブラッドショー 氏

■アフターコロナを見据えた取り組み

湯平温泉 旅館「山城屋」代表 二宮 謙児 氏

3. 講演 <15:00～15:50>

■日本文化・日本人のファンを増やすには

立命館アジア太平洋大学 (APU) 学長 出口 治明 氏

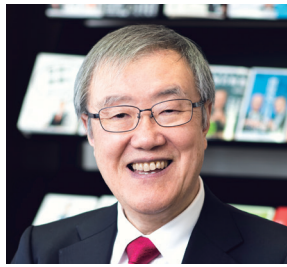
4. 質疑応答 <15:50～>

5. 閉 会 <16:30>

主 催 一般財団法人九州オープンイノベーションセンター

後援(予定) 九州経済産業局／一般社団法人九州経済連合会／一般社団法人九州観光推進機構

◆講師紹介



立命館アジア太平洋大学 (APU)

学長 出口 治明 氏(でぐち はるあき)

「日本文化・日本人のファンを増やすには」

「小さな国連」APUは、日本及び外国の文化の起源や魅力を理解し伝える真のグローバル人材を輩出する壮大なインキュベータと成り得る

1948年三重県生まれ。1972年京都大学卒業、同年日本生命に入社、2006年退職。2008年ライフネット生命を開業。2012年上場。社長・会長を10年務める。国際公募で推挙され、2018年1月に立命館アジア太平洋大学 (APU) 第四代学長に就任。同大学初の民間出身の学長となる。主な著書(単著)『全世界史(上・下)』(新潮文庫)『人類5000年史(Ⅰ～Ⅲ)』(ちくま新書)『0から学ぶ「日本史」講義(古代編・中世編)』(文藝春秋)『哲学と宗教全史』(ダイヤモンド社)、その他多数。

◆事例発表者紹介



学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学・客員教授
若林ビジネスサポート代表

若林 宗男 氏(わかばやし むねお)

観光が地域活性化に果たす役割～八女市での実践で目指していること～

八女商工会議所の観光振興アドバイザーとして高級宿の必要性を訴えて3年。今年6月に築100年以上の古民家を再生したNIPPONIA HOTELが開業した。八女市での実践を踏まえて観光が地域活性化に果たす役割を語る

テレビ東京で初代ニューヨーク支社長、『ワールドビジネスサテライト』初代ニュースキャスター、会社のホームページを予算ゼロで新設。八女市福島の白壁の町に高級宿の開設を提案。古民家を改装したNIPPONIA HOTEL八女福島商家町が今年6月に開業した。総理府の地域活性化伝道師、(一社)九州観光推進機構九州観光広報センター副センター長兼海外担当。九州大学学術研究・産学官連携本部アドバイザー。



福岡ソフトバンクホークス株式会社 事業統括本部 新規事業推進本部
インバウンド推進室 室長

淵 郁子 氏(ふち いくこ)

「コロナ禍におけるコンテンツのマネタイズ化」

インバウンド集客ができない中、ブランド構築・ライセンス価値をいかに商品化するか?コロナ収束後の収益へ繋げるために今できること

1968年 長崎市生まれ。20歳で結婚し32,30,27才3人の子育てを経て、37歳 エントリーサービスプロモーション(当時)より福岡ドームスーパースタジアムで派遣社員として働く。39歳 福岡ソフトバンクホークスマーケティング(株)(当時)営業本部入社。49歳 営業本部新規開発部部長を経て、新規事業推進本部インバウンド推進室室長。現在に至る。



合同会社 GOTOKU 代表

Alexander Joel Bradshaw 氏(アレキサンダー ジョエル ブラッドショー)

「伝統とテクノロジー ～古き良き日本伝統と近代化社会をどう繋げるか?～」

島津家別邸「名勝 仙巖園」が、本物の伝統文化を世界へ発信すると同時に、訪問客の体験価値を改めて見直すため、また、国境を越えた新たなファン層の構築のために、いかにして技術革新したのか?

昭和56(1979)年、イギリス シェフィールド生まれ。リーズ大学歴史学専攻。来日後、英会話教室ブラッドショー イングリッシュ スクールを設立。TEDxKagoshimaオーガナイザーの一員。現在は(株)島津興業 海外営業部長。鹿児島県海外広報官や鹿児島市都市景観アドバイザーも任務。観光コンサルティング会社 合同会社GOTOKUの代表。鹿児島の古武術示現流兵法の門下生。



湯平温泉 旅館「山城屋」代表

二宮 謙児 氏(にのみや けんじ)

「アフターコロナを見据えた取り組み」

コロナ禍を経て必ず訪れるインバウンド回復期へ向け、今出来ることは何か?かつて外国人客が8割を占め、連日満室だった山奥の小さな旅館が休業期間に見つけた「3つの宝」と現状の取り組み、そして今後の展望を語る

1961年大分県生まれ。大分県信用組合勤務を経て、有限会社山城屋代表。インバウンド推進協議会OITA会長。経営する山城屋は、約15年前よりインバウンドに取り組み「九州未来アワード」で審査員特別奨励賞受賞。世界最大の口コミサイト「トリップアドバイザー」の上位1%の施設に与えられる「トラベラーズチョイスベストオブベスト」を5年連続受賞。今回の新型コロナウイルスによる休業期間中は旅館を疑似体験できる「体験動画」の制作や、近隣の石仏群を調査整備する新たな観光資源の発掘に力を入れる。現在は「大女将秘伝の味噌」を商品化しECサイトでの販売を準備中。著書に「山奥の小さな旅館が連日外国人客で満室になる理由」

お申込み

下記URL、QRコードの申込フォームからお申し込みください。

<https://forms.gle/EtdxehXmW4oNLK1x9>

※本参加申込書の情報は、本セミナーの運営に係る目的のみに使用させていただきます。
参加用のリンク先を当日までにメールにてご連絡します。



～ お申込みの皆さまへ ～

本交流会は、参加された皆さまの交流・連携の場を提供することを目的としております。

交流会終了後、趣旨にご賛同頂いた方に、参加者のプロフィール等を記載した「九州異業種交流会ネットワークリスト」を配布致します。
ご希望の方は、上記お申込み用フォームより別途必要事項にご入力下さい。

申込締切

11月9日(月)

お問い合わせ

一般財団法人九州オープンイノベーションセンター
イノベーション推進部 (担当/藤瀬、平島)
TEL : 092-411-7354 E-Mail : info@koic.or.jp

